

# 断酒 みどりの友

発行所 呉みどり断酒会  
 事務局 呉市 押 込 5-12-25  
 渡部 憲方  
 郵便番号 737 - 0915  
 電話 33-5571  
 発行人 渡部 憲  
 編集代表 石橋 剛  
 印刷 松広印刷



第 45 回広島県断酒(竹原)大会にて



「七年間の奇跡」

理事 廣野 幸 則

滅茶苦茶な出鱈目な飲酒の三  
 数年間。現在、酒が一時的に止ま  
 っています。お陰様で断酒継続七年  
 を経過しました。今も回復途上と  
 思いますが、止めよう、止めよう  
 と思うだけで止められなかった数  
 年間から考えると、奇跡と思える  
 七年間。断酒会に入れて頂いた他  
 には考えられません。

私が断酒会に入会するきっかけ  
 は、入院中に故長尾院長先生に勧め  
 られ、現渡部会長より凄く達筆  
 な字で『会は君を待っている…!』  
 と言うメモを頂いた事です。字が  
 元々下手で、離脱症状で手が震え  
 まともに字が書けなかった時が長  
 かった私はそんな字に憧れをも抱  
 きました。藁(わら)をも掴む気持ちで断  
 酒会に飛び込みました。酒に頭の  
 天辺から爪先まで浸かり溺れてい  
 た私はそういう気持ちでした。

飲酒末期は本当に苦しかったで  
 す。酒の飲み過ぎで体調不良、情  
 緒不安定、昼ご飯もまともに食べ  
 られず、弁当を食べる真似をし、  
 ゴミ箱に捨てる。これではいけな  
 いと思いつつも無意識に酒に手  
 が伸びる。今日こそはと思いつつも  
 ら、毎日飲んでしまう。これ一杯  
 で止めようとするが、気が付くと  
 いつの間にか空。これで終われば  
 良いのでしょうか、近くのコンビニ  
 ニに買いに行く。何本も買うと飲  
 み過ぎると思えば一本だけ買うが、  
 これを帰るまでに飲んでしまう。  
 また、コンビニに行く。結局、飲  
 み潰れるまで飲んでしまう毎日…。  
 自分が嫌になるが、この毎日の繰  
 返し…。本当に苦しかったです…。  
 漸く入院となりました。入院す  
 ると酒を飲まなくて良いと思うと、  
 なんかホッとしました。

長い飲酒時代は、知らず知らず  
 の内に周りの人に迷惑を掛けて来  
 ました。飲み潰れる事が多く、覚  
 えていない事の方が多いかと思  
 います。迷惑を掛けた人には申し訳  
 ない気持ちで一杯です。これから  
 は、これ以上の迷惑を掛けること  
 の無いよう、迷惑を掛けた分、何  
 か返せたらと思う気持ちです。断  
 酒会の皆様には迷惑を掛ける事も  
 有ると思いますが、皆様の助けを  
 借り、皆様と共に断酒継続して行  
 こうと思えます。そのために例会  
 出席、一日断酒で頑張ります。

# 第45回広島県断酒(竹原)大会 (併 芸南断酒会創立30周年記念大会)

梅雨の晴れ間の6月28日(日)、

竹原市の竹原市民会館ホールに於いて、広島県断酒会連合会主催(主管・芸南断酒会)で、第45回広島県断酒(竹原)大会が403名の医療・行政・県内外からの朋友会員・家族の方達が集い、盛大に開催された。当会からも50名の会員・家族が参加。

大会は、テーマ『きずな』のもとに進められた。

大会開催に先立ち、去る4月6日に御逝去された長尾澄雄前院長



挨拶をされる長尾正崇先生

先生の長男で広島大学医学部教授・長尾正崇先生が澄雄先生の生前に親交を深めて頂いた朋友会員・家族へのお礼の言葉を頂いた後、大会に移った。

体験発表は、県連加盟断酒会から5名が本人・家族の立場から行なわれた。呉みどり断酒会からは、住村敏子さんが家族の立場から夫の引き起こす酒害に振り回された日々…。そして、断酒会に繋がりが、変わっていった御自身や御家族の心模様を切々と語られ、多くの参加者の胸を打った。



講演の長尾早江子院長先生

午後からの記念講演は、呉みどりヶ丘病院新院長・長尾早江子先生により、テーマ『思い繋げて』、サブテーマ『呉みどりヶ丘病院におけるアルコール依存症治療の歩み』と題し、日本で最初に民間アルコール専門病院として設立されて四十五年を迎える呉みどりヶ丘病院の経緯を話され、世の中が変化するにつれ女性依存者や再入院者の増加を憂い、女子病棟やデイナイトケア施設の開設。そして、施設拡充に伴った現状の二段階の治療法(第一期治療として、入院による内科的治療。第二期治療として、8項目のカリキュラムに基づく精神的リハビリテーション治療)について話して頂いた。

最後に長尾澄雄先生が平成15年頃に話された御所感《我が国で民間として初めてのアルコール依存者の専門病院を造って、もう30有余年になりますが、その間の実践において、万余を越す患者さんとのふれあいの中から、私共が学んだことはアルコール依存症は特殊な人格構造を持った人のみに見られる特有な現象であるのではなく、ごく、ごく、一般的な平均的な人なら誰にでも起こりうる危険があるということでありました。従ってストレスに満ちた価値観の多様な現代社会において、その数は増加の一途をたどるであろうことは容易に推論されるところであります。従って、その予防と治療に携わる私共の責任はますます大きくなると考えなければなりません。

この使命にこたえるべく、私共呉みどりヶ丘病院は、なお一層の力を尽くすことを誓うものであります。《を引用され、残された職員一同、長尾早江子新院長先生を中心に故長尾澄雄先生の志を引き継ぎ、治療に邁進して行く所存でおられることを話された。

今回、芸南断酒会の皆様には、貴重な体験の場所と時間を提供して頂き、有り難うございました。

体  
験  
発  
表



住村 敏子  
(家族)

本日は、第四十五回広島県断酒会(竹原)大会併せて芸南断酒会創立三十五周年記念大会の開催、おめでとうございます。このようなめでたい席で体験発表をさせて頂き、ありがとうございます。

私は、呉みどり断酒会家族の住村敏子でございます。まずは家族構成からさせて頂きます。主人は三年前、六十二歳の時にアルコール依存症と診断されました。義母は八十七歳で、五年前に脑梗塞を患い足が不自由です。二人の子供は、既に結婚をして家を出ております。

当時、主人は退職して家におりましたので畑で野菜や果物を作っていました。家と離れた所に畑があるので私が畑に行った時に大量の缶ビールの空缶にびっくりした事があります。当然、飲酒運転をしていた事になります。私は仕事をしていた事になります。私には仕事をしていましたので、夜帰宅するとすでお酒を飲んで酔っています。

したが、結婚当初から毎晩晩酌をしていましたので、何の抵抗もありませんでした。体調の良い時は夕食の支度をしてくれていました。が、何時も何時も甘辛い濃い味付の料理には、義母も私もうんざりしていました。『こんな物ばかり食べていたら病気になるよネ...』と食わずに捨てていました。この夕食の買物の時にお酒も買っていたようです。ゴミ袋の中のお酒の空パックが段々増えていき、暴言がひどくなってきました。義母も私も理屈に合わない暴言に腹を立て、口喧嘩ばかりしていました。後に断酒会でアルコール依存症の病気が言われている事を知る事になります。

私は腹が立つと、愛犬を連れて



寒い夜道を散歩に出掛けていますが、義母は足が不自由なため主人の暴言を聞くしかなかったと思います。反論すると益々暴言がひどくなり、私は義母に『火に油を注ぐような物だから、ひたすら聞きなげよう...』言っていました。この頃が誰にも相談する事が出来なくて一番辛かったと思います。

義母も私もアル中と言う言葉位は知っていましたが、アルコール依存症の知識は無く、何度も何度も『どうしたら良いものかネエ...?』の繰り返しで前に進む事が出来ませんでした。それでも未だお酒の飲み過ぎで酔っぱらっているだけで病気だとは思っていませんでした。

主人が普通ではないと初めて思ったのは、やはり三年前の三月の末に長男に子供が誕生した時の事です。お祝いに博多まで長女夫婦の車で出掛けました。その日主人は朝から何だかボオツとしていて歩き方はおぼつかないし、エスカレーターには一人で乗れないし、階段は踏み外しそうになり、食欲もなかったと思います。産婦人科の病院の病室に入るなりトイレに入り『ゲェゲェ』と吐き、お

嫁さんに『お義父さんどこか具合が悪いのですか?』と聞かれました。私は『車に酔ったのか?』と答えましたが、今まで一度も車に酔った事はありません。これ後に断酒会でアルコール依存症の症状だと知りました。さすがにこの時ばかりは、子供達もおかしいと感じていました。後に娘から『お父さん、朝から酒臭かったよ...』と言われました。博多から帰った翌日、私は脳の方に何か異常が有るかもしれないので病院へ行くように主人に言いましたが行きませんでした。その四日後の事です。仕事をしていると、突然に呉労災病院から電話が有り『ご主人が交通事故を起こし救急車で運ばれて来ているので、直ぐに病院に来るよう』に言われ、私は取るものも取りあえず病院へ駆けつけました。

その時、ついにやったと私は思いました。救急病棟に運ばれた主人はケガもしていません。点滴を受けベッドで眠っていました。その時、労災病院の先生に言われたのは『うちの病院で診る病人ではないので、呉みどりヶ丘病院を紹介するから...!』と言われました。私達は翌日呉みどりヶ丘病院へ行

き、故長尾院長先生にアルコール依存症と診断され六ヶ月の入院となりました。その時初めて色々な事が納得出来たように思います。故長尾院長先生から『今はお酒でこの状態が保たれているが、お酒が切れると離脱症状が出て今より状態が悪くなる…』と聞かされ閉鎖病棟に入りました。私は漠然と呉みどりヶ丘病院の事は知っていましたが、鍵の掛る病棟に入った時はショックでした。でも、何だかここに来れば主人は良くなると思ひ、帰りの車の中で何か安堵したように思いました。それから面会に行った時、頭が混乱しているために手足を拘束され『トイレに行きたいから、ひもをといてくれ』と言った時には涙が出て、来賓席にいらつしやる長尾早江子先生に『元に戻るんですか…?』と尋ねました。先生は『人により、時間も異なるけれども良くなるから…』と丁寧に説明して下さい、少し安心する事が出来ました。『アルコール依存症の肝性脳症は再発する度に重くなり、ついには廃人になる…』と言われ、どんな事が有っても決して再飲酒をさせてはいけなと深く思いました。



主人と

入院中に断酒会への入会を勧められ、私は何故家族までが出席しなければいけないのか?、本人が出席すればそれで良いのではなにか?と思いましたが、断酒会に入会してからその思いは徐々に変わって来ました。断酒会の皆様の話しを聞かせてもらって、私と同じ悩みを持った人達の集まりであり、今まで友人にも誰にも相談出来なかった悩みを聞いて頂き、何よりもアルコール依存症という病気を知る事ができました。入会当初、私はささいな事でよく喧嘩もし、腹を立てながら例会に出る事もしばしばでしたが、何故だか例会の帰りは心が穏やかになる事が出来ました。

今は、つくづく思います。もしあの時、主人が自損事故を起こさなかつたら…。そして、呉みどりヶ丘病院に繋がらなかつたら…。? おそらく、主人はお酒をだらだら飲み続けて状態をどんどん悪くし、今頃はこの世にいなかったかも知れないし、何より私自身が『何故、私だけがこんな思いをしなければいけないの?!』と思ひ悩み、心を病んでいたと思います。もし、断酒会に繋がってなければ、今の主人も私もいなかったと思います。

義母にも『水曜日と土曜日の夜は例会出席のため、家を空け一人になるけれども、お酒を飲んでい頃の暴言を聞きたくないし、あの頃のようなならしめない格好は見たくないでしょう!!』と言っています。そのためには、例会出席しかないかと協力してもらっています。そんな高齢で不自由な身体が出来た断酒会への出席の両立で悩む事も多いです。義母は『大丈夫じゃけん行つといで!!』と言ってくれますが、義母一人残して泊まり込みの行事に参加する事は出来ません。それが、少し残念

です。断酒会の先輩の話の中に『アルコール依存症になり、十年間お酒を止めているから…。』と同窓会の出席を断わつたら『十年もお酒を止めているなら、もう飲んでもいいのではないか?!』と言われたという話を聞きました。私自身も断酒会に入っていないから『少しぐらいなら飲んで良いのではないか?!』と思っていたのでは?と思います。

世の中の人達にアルコール依存症と言う病気を知ってもらう事は、なかなか難しい事だと思います。しかし、何よりも大切なことは、アルコール依存症者自身が断酒会に繋がって断酒例会に出席し、強い意志を持ち続ける事だと思ひます。お陰様で退院してもうすぐ三年が来ます。本日、この大会で体験発表をさせて頂いている私の幸せそうな顔を…。この会場で黙って私の話を聞いている主人の姿を…。亡くなられた前長尾澄雄院長先生にその来賓席で見て頂きたかつたかな…。残念に思っています。これから夫婦揃って仲良く例会出席を続けたいと思っています。本日は、有難うございました。



**第50回中国断酒ブロック (鳥取) 大会**  
 併 鳥取県断酒会創立50周年記念大会  
 春の訪れの遅い因幡の地、鳥取市にあるとりぎん文化会館・梨花ホールに於て、4月12日(日) 第50回中国断酒ブロック(鳥取)大会併せて鳥取県断酒会創立50周年記念大会が、県内外から860名余りの朋友達が集い、盛大に開催された。当会から初参加者6名を含む45名の会員・家族が参加。  
 大会は、テーマ『希望への道』、『自己の回復、取り戻そう家族の笑顔』をサブテーマに進められた。

**第50回中国断酒ブロック (鳥取) 大会**  
 併 鳥取県断酒会創立50周年記念大会

研修では、全国各地の朋友の体験談に聞き入り、中日10日(母の日)の《カーネーション贈呈行事》では、送る側、送られる側に微笑ましい一面が見られてホッとする一時であった。  
 最後に、多くの仲間が再会を期しつつ会場を後に帰路に着いた。



本山町プラチナセンターにて

5月9日～11日の3日間第71回松村断酒学校が新緑薫る本山町プラチナセンターに於いて開催された。当会からは、2名の初入校者を含む8名が入校。総勢266名が全国各地から集った。

**第71回松村断酒学校**



山口県セミナーパークにて

初夏を想わせる5月30～31日、山口県セミナーパークに於いて第21回山口県断酒セミナーが150名余りの朋友が全国各地から集い、開催された。昨年は、当会の行事と重なって参加出来なかったが、今回は、初参加者4名を含む11名が参加。二年ぶりの参加で研修内容も新鮮さを感じられた。  
 また、休憩時間には10月4日開催の全国(山口)大会のエピソードに花が咲き、楽しい時間を頂いた。研修の2日間が終わり、会場のそこかしこで10月の全国大会での再会を約束する姿が見られた。

**第21回山口県断酒セミナー**

大会は『断つ克つ生きる』をテーマに進められ、記念講演は、アクス・ヒューマン・ケア研修相談センター所長・水澤都加佐先生により『断酒後の問題点 クロスアディクション』と題する演題で講演をして頂いた。



梅雨明け間近の7月12日、徳島県鳴門市の鳴門市文化会館に於て、第50回四国断酒ブロック(徳島・鳴門)大会が、全国から802名の朋友が集い、盛大に開催された。当会も38名の会員・家族が参加。

**第50回四国断酒ブロック (徳島・鳴門) 大会**

## 第14回鳥取県一泊研修会

人気高まる鳥取県一泊研修会が7月18～19日(日)、ホテル『大山』で開催された。今年も二百数十名の盛況ぶりで、当会からも初参加者2名を含む9名が参加した。

当日は台風11号が直撃か…と、心配されたが東に進路が逸れ、4台の車を連ねて、全線開通した「尾道～松江道」経由で大山へ。

全国各地の朋友の体験談、恒例となった大山寺での早朝座禅(7名が参加)と、実り多い研修会であった。『来年も必ず来ましようね』と、約束をしながら会場前で記念写真をパチリッ…。



ホテル『大山』研修会場前で

## 寄付者御芳名

- (三月度) 呉 金子武久様 五、〇〇〇円
- (五月度) 鳥根県断酒新生会 五、〇〇〇円
- 出雲西支部様 五、〇〇〇円
- 呉 大段一弘様 五、〇〇〇円
- (六月度) 呉 原本正文様 五、〇〇〇円
- (七月度) 呉みどりヶ丘病院 院長 長尾早江子様 六〇、〇〇〇円
- 福山市断酒会様 五、〇〇〇円
- 呉 福永里美様 五、〇〇〇円
- 呉 高井行雄様 一〇、〇〇〇円
- 呉 住村博士様 五、〇〇〇円
- (二～七月度) 四、五八八円

## 新入会員紹介

- 呉市中心五―一―一四―七〇三 柳尾 佳司
- 呉市吉浦中町三―四―二五 岡本 晋

## 断酒継続おめでとう

- ☆一年 宮本 信之 3月1日
- ☆〃 岡本 英範 6月4日
- ☆〃 川口 朝海 7月2日

## 行事予定

- ☆〃 原本 正文 7月2日
- ☆〃 中林智佐子 7月5日
- ☆二年 高木 宗弘 4月17日
- ☆〃 澤原 泰幸 5月1日
- ☆三年 金子 武久 3月1日
- ☆〃 名田 信之 3月10日
- ☆〃 高井 行雄 7月28日
- 9月19～21日 第45回広島県断酒会 連合会研修会
- (国立江田島青少年交流の家)
- 9月27日 第4回リカバリーパレード 「回復の祭典」 in 広島 (広島市紙屋町周辺)
- 10月4日 第52回全国(山口)大会 (山口県維新百年記念公園 スポーツ文化センター)
- 10月18日 呉みどりヶ丘病院 創立45周年記念・特院
- 10月24日～25日 第25回中国ブロック (呉みどりヶ丘病院)
- (岡山)断酒セミナー (鷺羽山 下電ホテル)
- 10月31～11月1日 第20回ふくやま一泊研修会 (みろくの里)
- 11月14日 飲酒運転撲滅キャンペーン (J.R 呉駅周辺)
- 11月22日 第3回中国断酒ブロック アメシスト一日研修会 (ワークヒア広島)
- 12月9日 第49回酒なし忘年感謝会 (シテイプラザ・スギヤ)
- 平成28年1月3日 平成28年新年合同初例会 (呉みどりヶ丘病院)

## 平成27年3月～7月度例会動員数

行事名	回	正会員	家族会員	助成会員	他会員	院内会員	7-セブ	合計
土曜例会	21	714	305	113	242	1,540	451	3,365
水曜例会	22	756	341		7	4		1,108
家族の集い	5	33						33
ブロック例会	5	53	24					77
新会員を囲んで	5	60	24					84
院内懇談会	5	5						5
特別院内断酒例会	5	88	39					127
第50回中国断酒ブロック(鳥取)大会	1	30	15					45
第71回岡山断酒学校	1	5	3					8
第21回山口県断酒セミナー	1	7	4					11
第45回広島断酒(竹原)大会	1	32	18					50
全断酒評議員・定時社員総会	1	1						1
第50回中国断酒ブロック(徳島)大会	1	26	12					38
第14回鳥取断酒一泊研修会	1	6	3					9
県連理事会	5	24						24
呉みどり断酒会役員会	5	32						32
合計		1,872	788	113	249	1,544	451	5,017